

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版41号



平成 24 年 6 月 28 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamato.net

★ブログでは主に県議会での活動について、フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。是非、そちらもご覧になってください。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在33歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会文教警察委員会委員、東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会委員、土浦消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

●平成24年県議会第二回定例議会。

6月に定例議会が開催されました。今回は予算関連の議案はありませんでしたが、やはり一番は神栖市のヒ素化合物による健康被害への県の対応をしっかりと示したことではないでしょうか。

5月11日に公害等調整委員会にて、県の責任を認めた裁定が出されました。これを受けて県が提訴するかどうか。私たちの会派としては、被害者の方々の救済をまず第一に考え、提訴せず問題の早期解決を図るべきと知事に対して要請を出してきました。

今回、県が提訴せずに被害に遭われた方々との早期の和解を選択したことは正に知事の政治的な決断だったと思います。

●県議会文教警察委員会にて

青山の担当する県議会文教警察委員会にて、今回は下記の5つの項目を質問しました。

①来年から始まる県立高校入試の新選抜制度②県生涯学習センターの再編③平成31年開催の茨城国体に向けての選手強化策④県内の小中高での原子力教育⑤県警の危機管理体制の再構築の進捗状況

来年の県立高校入試から現行の推薦入試を廃止することが、昨年決まりました。原則として受験者全員に5教科の学力検査を課す一方、各学校の裁量で面接や実技試験を行い、文化、芸術、体育などの分野で秀でた生徒を選抜できる「特色選抜」という枠を設けられることになっております。しかし、受験生から「特色選抜」について、どのような対策をしたらいいのかかわからず困っていると

の相談がいくつかありました。これに対して県教育庁から、①例年10月に実施細則において入学者選抜の詳細を発表しているが、今年は受験生に配慮し6月末を目途に公表する②学力検査だけではない能力や個性を反映するため、学校によっては学力検査以外の部分の配点を重く見ることもあり得るとの答弁がありました。

また、特別委員会においては、科学技術を活かした産業活性化に向けた取り組みについて、つくば国際戦略総合特区の推進、J-PARCの利活用の促進、科学技術を支える基盤強化と技術開発を活かした新産業新事業の創出支援の3つを中心に議論いたしました。その中のつくば国際戦略総合特区の推進についての青山の質問が翌日の読売新聞に掲載された。(裏面参照)県議会特別委員会の質疑で全国紙に取り上げられるのは異例のことです。

●編集後記

国会がめまぐるしく動き、近々衆議院の解散があるかもしれません。消費税増税法案について敢えて言わせてもらえば、私が永田町の衆議院会館で秘書をしていた8年前から、社会保障制度改革の議論がありました。それが未だに進まない中で、消費税増税だけの議論が先行されることに強い違和感を持っております。さらに一番残念なのは、国会でやっていることと地元で言っていることが正反対の一部の国会議員です。落下傘で党の風に乗って、政治信念もなく当選された方にこの傾向が多いように感じます。このような議員がいるから、政治に対する信頼が失われるのではないかと思います。

さて、以前から噂のあったコストコが、つくばイースト北側にほぼ決まりました。今年12月から工事着工、来年8月から営業開始の予定のようです。